

ユネスコ無形文化遺産

(国) 重要無形民俗文化財
(県) 有形民俗文化財

令和2年度 尾張津島天王祭は中止します。

75年ぶりの宵祭・朝祭中止

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、4月26日に合同緊急会議が開催されました。この会議で令和2年度の尾張津島天王祭の宵祭と朝祭の中止が決定し、翌27日に発表されました。

市江車協賛会事務局によると、すべての市江車行事も中止になるといいます。

約六百年の歴史があるとされている尾張津島天王祭は、多くの行事・神事によって構成されています。今回の中止は、一般の方々が見物できる行事などが中止となり、津島神社等で行われる疫病退散を願う「神葎神事」は関係者のみで行われます。

太平洋戦争時以来の出来事

神葎神事以外の中止は、1945（昭和20）年以来、75年ぶりです。

この年は太平洋戦争中で、本土空襲も激しい年でした。物資の統制によって材料が入手困難

となり、さらに召集や動員で人材も不足していたことで中止となりました。また、翌年も戦後の混乱により、材料などが入手困難となり宵祭・朝祭を含む「車楽舟行事」は中止されています。

神葎神事によって、新型コロナウイルス感染症の流行を鎮め、来年は例年どおりの天王祭が行われることを祈るばかりです。

津島神社の神葎神事

津島神社で行われる神葎神事は7〜10月にかけて行われます。複数の行事で成立しており、人々の災いや疫病を肩代わりした神の依代（神葎）を川に流して疫病退散を祈願します。また次の新しい神葎も準備されます。例年の天王祭では、朝祭の翌日に古い神葎が天王川公園丸池に流されている光景を見ることができます。

市江車関連の昭和15～22年の略年表

(参考文献：『佐屋町史』史料編2)

西暦	和暦	市江車の出来事 () 内は津島神社での神事	市江車の置物	主な出来事
1940	昭和15	うるち米、白米、小豆類が統制により入手困難となり、村中を回り調達。布鉾用のサラシも入手不能でスフや木綿で代用	ゆみやわた 弓八幡	日独伊 三国同盟成立
1941	昭和16	市江車に使用する木造船の紋の書き換え完成	とうぼうさく 東方朔 (東望朔)	真珠湾攻撃
1942	昭和17	「若い衆制度」から「青年会制度」に移行	もみじがり 紅葉狩	ミッドウェー海戦
1943	昭和18	布鉾用のサラシを特別に調達するが、粗雑な布しか調達できず	かすがりゅうじん 春日龍神	学徒出陣
1944	昭和19	車楽舟行事中止。兎定め、稽古初め、御神酒等は例年通り献上する。ただし参宮米の献上は中止	なし	東南海地震
1945	昭和20	車楽舟行事中止（神葎神事のみ実施）	なし	ポツダム宣言受諾
1946	昭和21	車楽舟行事中止（神輿渡御・還御などは実施）	なし	農地改革
1947	昭和22	農地改革による経済的打撃を受け、節約して実施	くまさかちょうはん 熊坂長範	日本国憲法施行